

# 花屋敷 笑顔だよ

第16号

発行/社会福祉法人聖隷福祉事業団 花屋敷せいの里 2007年3月発行  
〒665-0808 兵庫県宝塚市切畑字長尾山5-321 TEL.072-740-3388 / FAX.072-740-3980



## ひばり祭りに参加

平成18年10月22日 今回は「おでん」を出店しました。  
出店も恒例化し、3回目となりました。



暖かい日で売れ行きが心配されましたが、  
終了までには無事完売いたしました。  
おいしさがうけたのでしょうか・・・。

### 情報開示調査に思う

花屋敷せいの里 総院長 本下 博己

花屋敷栄光園では昨年11月に介護サービス内容の情報開示のための立ち入り調査がありました。認定された調査期間が介護サービス提供事業所のサービス内容を調査しその情報を開示することによって、一定のサービス内容を担保することによって、一定が始まったものです。

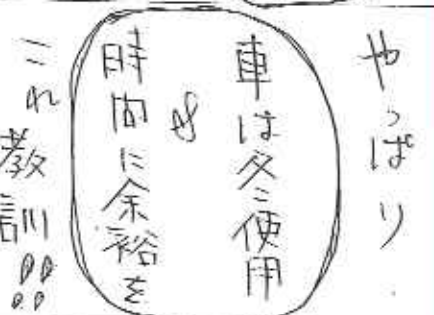
今回の調査は120ほどの項目を2時間程度で、殆ど書類審査で行うもので、サービス内容の吟味には程遠い内容でした。色々な所で状況を探ねると、評判は全くといっていいほど良くありません。実質的な調査が出来ていない、費用が見合わない、更衣等当然のことを記録で確認されるため、実質的な介護業務に支障が出るなどです。

しかし、先日のテレビ、新聞で大きく取り上げられたベットの柵に利用者を入れたり、手鏡をかけて拘束しているような施設があることを知らされると、早く立ち入り調査が有効に機能するようにしてほしいと願わざるえません。

私たち法人の75年の歴史はサービスを受ける利用者の福祉を願った積み重ねであり実践の歴史であり、私はなによりもそのことを誇りに思います。傲慢になることなく外部の力に頼るのではなく、自らが掲げた理念に基づき、この年も利用者信頼されるサービスを提供していきたいと思っています。

### 入居者・利用者の方々の作品

#### 冬の教訓



受験ミズン 蓋  
オチは控えさせて置きます。

#### ～訂正とお詫び～

15号にて下記の誤りがありました。  
P5 ボランティア 福持 裕子様のお名前のもれがありました。  
訂正をもってお詫び申し上げます。

#### 編集後記



みなさま、体調はいかがですか。大流行したノロウィルスの感染力はすごかったですね。私もかかってしまい、大変な目にありました。流行には敏感でありたいですが、このようなものは遠慮したいものです。

広報委員のひとりより

次号は平成19年5月発行予定です。



寄せ植の中にすくっと 黄水仙  
古塚 清文



シルエット すごく奇麗よ 湯気の窓  
落合 光子



痛くないでもじゃまな異物 噛んでいる  
疾く除きたし はじめて入れ歯  
松田 富枝



西日すら射さない心 金魚飼う  
西畑 志津子



存念も気負いもさめて若き日の  
ノートに沈む虚しさあり  
安田 美彌子

こま犬の口に不安を拗じ込める  
深田 幸枝



地理 歴史 日の丸 君が代 金部 ダメ  
酒井 敏子

衣替え 季節くるたび くり返す  
いつまでつづく ながめる古着  
吉村 美奈子

また少し 母に似たるや 初鏡  
住田 香子



11月2日には、音楽の地、浜松よりローランド  
芸術文化振興財団の方々にお越しいただきました。  
オルガンってこんなにもさまざまな音色が出せるのかと、  
びっくりしました。  
曲目は  
「慕情・枯葉・白鳥の湖・埴生の宿・故郷・愛の讃歌」など



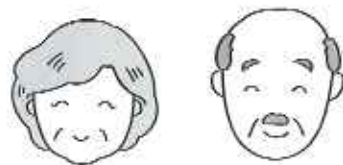
ご参加いただいた皆様も、時をたつのを忘れて聞き入っておられました。



日本民謡の会の方々の  
発表会もありました。  
皆さん、素敵な踊りでした。



11月3日には、お茶会がありました。  
倉科節子先生にたてていただいたお茶を、  
きれいな和菓子と一緒にいただきました。  
いつものお茶とは違う雰囲気、  
会話も弾みました。



3日間盛況に終わった文化祭ですが、次回の文化祭につきましては、  
3年後の平成21年を予定しています。その時にも様々な作品が  
発表できますよう、皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

## 第2回 せいの里 文化祭

去る11月1日～3日までの3日間、第2回目の文化祭を開催いたしました。  
今回も特養とデイサービスとケアハウスの合同で、日頃の活動の発表の場  
として、また文化の日としての楽しみとして、お越しいただきました。



作品展につきましては、  
書道・編み物・絵画・陶芸  
洋裁・折り紙・タペストリー  
写真等さまざまな分野において、  
皆様の日頃の活動の成果を  
発表される場となりました。



特に編み物は、ファッションショーも開催し、  
自分で編まれたセーターなどを、自分がモデルと  
なって、皆様の前でご披露していただきました。  
皆様、とても素敵でしたよ。



演奏会として11月1日は、  
宝塚在住のシャンソン歌手、須山公美子さんに  
お越しいただきました。帽子とアコーディオンが  
決まっていますね。



第2回花屋敷せいの里文化祭



実は、日本でシャンソンが公式に  
歌われたのは、昭和2年宝塚少女歌劇団公演の  
「モン・パリ」だとのこと。会場の皆さんも  
一緒に「すみれの花咲く頃～」と合唱しました。



## ボランティアグループ紹介コーナー

### 朗読の会ほのぼの

藤本 征米子

「皆さん、こんにちは。朗読の会ほのぼのです。短い時間ですが皆さんと楽しく過ごしたい  
と思います。どうぞよろしくお願いいたします。」

という風に、皆様の園にお訪ねする様になって六年目になります。

対面朗読の訪問は月二回、ご希望の本を読んでさしあげることで喜んでもらっています。

又たくさんの方々とお会いするのは隔月の水曜日の午後。忘れた頃にやってくるナという感が  
するかもしれませんね。私達は毎月一回は講師をお迎えして朗読の勉強をしておりますが、皆  
様の目からも楽しんで頂ける様に主に、紙芝居を見てもらっています。

季節にあったもの、いつの時代も心を打つ話、そして心なごむ話・絵は美しく見やすいか等、  
時間をかけての作品選びは大切な仕事です。一方的にこちらから見てもらう訳ですから皆さん  
の反応は？興味を持って聞いて下さっているかどうか、本当に気にかかります。可能なら感想  
を聞きたいと思います。又お声も出して頂きたいので季節の唱歌などを選んでお持ちします。  
美しい日本の歌、美しい言葉に私達も共に心いやされます。勿論スタッフの皆様も少しでもそ  
ういう時間を共有してもらえたらうれしいです。

人生を重ね、深くなればなる程に懐かしい歌に若き日を重ねて活々と唱和していただけます。  
涙を流して聴いて下さるお姿に亡き両親、又未来の自分の姿を重ねながら会場を後にします。

「次にお目にかかる日までお元気で待っていてくださいね。さようなら・・・」



## ボランティアありがとうございました

● ボランティア記録より 平成18年9月～12月 ●

※順不同・敬称略

### 〈個人〉

横田 由利子/島端 重夫/澤 美知/山本 小竹栄/赤塚 たま子/神座 カオル  
倉科 節子/枚原 宗子/堀下 多恵子/浦 千代子/河田 強/松田 誠一/眞鍋 恭一/眞鍋 マスミ/  
山本 一三/米田 郁子/田中 春子/福澤 美穂/福持 裕子/三枝 尚子

### 〈団体〉

コミュニティひばり/喫茶ひばり/車椅子レクダンス普及会 宝塚支部/銀鈴会/タクソミックの会  
ありのままグループ/朗読の会 ほのぼの/かなりやの会/おしゃれクラブ

※写真掲載に関しましてご本人・ご家族の承諾を得ています。

## 花屋敷栄光園 (特養)

1月1日特養1階フロアでは、  
毎年恒例のお国めぐりをして  
お正月を祝いました。



今年は四国ということで、夏ではないですが阿波踊りを  
みようみまねで踊りました。輪になって踊る職員を  
入居者の皆さんが笑顔で応援してくださいました。  
今年も元気によいスタートを切ることができました。



## デイサービス

11月28日 デイサービスにて  
マグロの解体ショーが  
行われました。



当日は和歌山 勝浦港より直送された  
メバチマグロを目の前で解体し  
鉄火丼として皆様にふるまわれ  
目と舌で楽しむことができました。



## ケアハウス

11月27日  
紅葉狩りツアー  
能勢簡保 保養センターへ



11月の末にしては気温も高く、紅葉もまばらで曇り空の中でしたが、  
入居者6名、2台の車に分乗し紅葉狩りに出かけました。  
「外出するのは気分転換になり、外での食事もしみのひとつ！」  
という声に救われ、ゆったりとした時間を過ごしました。

